



# あすなろ

特別支援教室あすなろ  
令和8年 7月 No.3

## こんな「困った」ありませんか？

今年度も、特別支援教育や特別支援教室で行っている支援についてあすなろだよりでお知らせしています(年6回予定)。日常生活のお子さんとの関わりの中で、お子さん自身が『困った』と感じていること、保護者の方が『困った』と感じていることがあると思います。あすなろだよりを通して、6つのケースを紹介していきます。お子さんとの関わり方のヒントにいただけると幸いです。

それぞれのケースについて、**実態** → 『困った』の背景にあるもの → **対応、支援** の流れで紹介します。

### ケース1 突発的な言動が多く、友達ができない

#### 実態

- ・風邪を引いて休んでいた友達が久しぶりに登校したが、入浴できなかったため、体臭が少しきつかった。その友達に、「〇ちゃん、今日臭い。」と面と向かって言ってしまった。本人は友達と仲良くしたいが、それができず、悩んでいる。
- ・相手かまわず、自分の好きなことを話す。相手が別の話をしているにもかかわらず割り込んでいく。
- ・突然、難解な用語を使い出す。

#### 『困った』の背景にあるもの

##### ○相手の気持ちが分からない

何事も論理で考えがちで、感性を働かせて理解するのが苦手です。友達を思いやる気持ちはあるのですが、友達の本心を表情や態度(まなざし、動作、しぐさなど「言葉以外の情報」)から読み取ることができず、不本意ながら、相手を傷つける言動をしてしまいます。

#### 対応・支援

##### ○理屈での説明

感性で人の気持ちや場の空気を読み取るのが苦手なため、なぜ友達が怒ったのかを理屈で説明すれば納得します。

##### ① テレパシーゲーム

子どもの好きな絵や写真などが入ったカードを10枚ほど用意し、広い場所にカードをランダムに置きます。「〇を取って。」⇒指さして「あれ取って。」⇒まなざしや表情を交えながらオーバーアクションで「あれ取って。」と言います。子供が顔や体に注目したり、視線や動作を見て動けたりするようになったら、感覚がよく働いている証拠です。この学習を通して、他者が「ことば以外の情報」で意思を示したとき、それに気付く力がついていきます。その結果相手の意図に敏感になり、少しずつ空気が読めるようになります。指示やルールの理解力アップにもつながります。

##### ② タッピング遊び(さらに、落ち着きのなさがある場合には)

食器洗い用のスポンジ、ヘアブラシ、衣装用のブラシなど、硬さの異なる道具をいくつか用意します。子どもの嫌がらないものを選び、道具を子どもの肌に直接当て、まずは腕や足など子供が嫌がらない部位からぎゅっと強く押します。一定の圧力を掛けながらほかの部位へゆっくり道具を移動させます。何度か経験するうちに、皮膚の感覚でどの部位を触られているのか意識する「識別系」が育ちます。識別系を働かせると、触覚のネットワークが整理され、その結果、ボディイメージが発達し、動作が器用になっていきます。それが、自己像の形成やセルフコントロールにもつながり、「原始系(人間の脳や感覚、特に触覚など生き残るために備わる本能的な働き)」にブレーキがかかります。

## あすなろ教室の教材・教具の公開について

### 日時

9月12日(土) 1・2時間目(8:45~10:20)

### 場所

千早小学校 あすなろ教室 プレイルーム

### 内容

発達障害の理解を深めるための書籍やあすなろ教室で使用している教材・教具の紹介をします。

### 保護者様へのお願い

- ① 名札・上履き・靴入れをご持参いただき、外靴は持ち歩くようにお願いします。
- ② 駐輪スペースがありませんので、ご来校の際は徒歩でお願いします。

### 【指導日変更のお知らせ】

11月30日(月)は、千早小音楽会振替のため指導をしない予定でしたが、高松小学校、要小学校の指導を行います。

よろしく申し上げます。